

## さがせ！海のマイクロ生物チリメンモンスター ～食卓で感じる海の声～

和泉市立南池田小学校

4年 石川 聡史朗

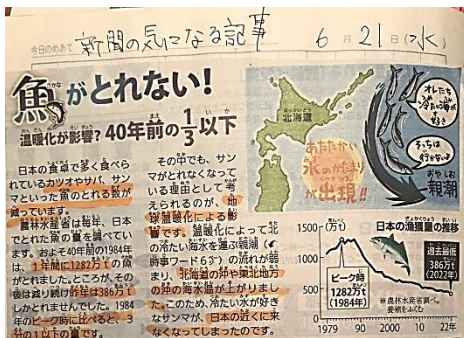
### 1, 研究の動機【調べようと思った理由】

ぼくは小さいころから、シラスやちりめんじゃこが好きで、よく食べています。

シラスやちりめんじゃこの中に、たまに魚ではない生物が入っていたり、ちがう種類の魚が入ってたりします。このような海の生物の赤ちゃんのことを「チリメンモンスター」といいます。ぼくは、チリメンモンスター(略して「チリモン」)を発見すると、宝物を見つけたみたいによろしくなります。

だから、ぼくは1年間かけて、チリメンモンスターのことについて調べてみようと思いました。

### 2, 考察【予想・考えたこと】



ぼくは、4年生の1学期に「読売 KODOMO 新聞」で魚が不漁だという記事を読んで、宿題の自学ノートに「気になる記事」として感想を書きました。そのときに、もしかしたら、ぼくが調べているチリメンモンスターたちも同じなのかなと考えました。そして、調べようと思ったことは2つです。

① 同じ場所でとれるチリメンモンスターは、季節によってちがうのか?

⇒ **ちがう**と思う

② 魚の漁獲量が減っていると新聞で読んだけれど、チリメンモンスターもへっているのか?

⇒ **へっている**と思う

### 3. 調査方法【調べ方】

① 春・夏・秋・冬ごとに、どんなチリメンモンスターが見つかるか調べる。(見つけたチリメンモンスターはUVレジンでかためて標本にする)

② 同じ産地のちりめんじゃこ・シラスを買う。(今回は和歌山県産のもので調べました)

③ チリメンモンスターの研究をする「きしわだ自然資料館」に行って調べたりインタビューしたりする。

④ シラス漁をしている漁師さんにインタビューをして、シラス漁体験をする



【研究に使った道具】  
ルーペ、ピンセット、UVレジン、  
お薬ケース



#### 4. 結果

① 同じ場所でとれるチリメンモンスターは、季節によってちがうのか？

⇒チリメンモンスターの種類によって、見つかる時期は違う！！

- ・ 200gのちりめんじゃこ2袋を、季節ごとに調べましたが、特に「エビ」「カニ」「エソ」はすごく見つかる差を感じました。(見つけたチリメンモンスターはUVレジンで固めて標本を作りました。)

② 魚の漁獲量が減っていると新聞で読んだけれど、チリメンモンスターも減っているのか？

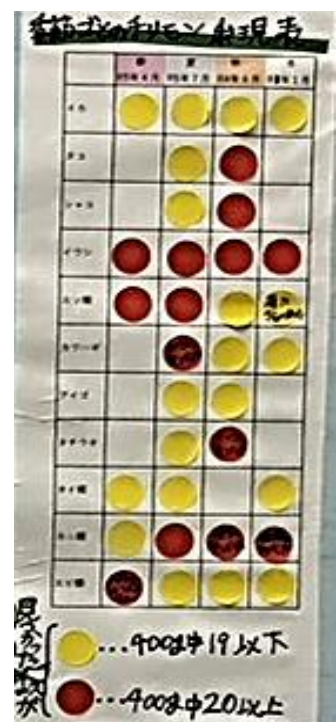
⇒少なくとも、今年は和歌山・泉州・淡路では全体的にチリメンモンスターは減っている！！

- ・ お魚に詳しい人たちにインタビューをしました

● インタビュー1 【魚屋さん】※近所のお魚屋さんに聞きました。



今日は100g280円で泉州産のシラスを売っています。去年よりも2倍くらいの値段になっています。これは、シラスの取れる量も半分ぐらいになっているということです。5月から6月には1番とれる量も多いから、生シラスを売っているけれど、今年は少しか仕入れができなかったの、すぐに売り切れました。



●インタビュー2 【漁師さん】※シラス漁体験の申し込みをしたときに聞きました。(淡路・和歌山)

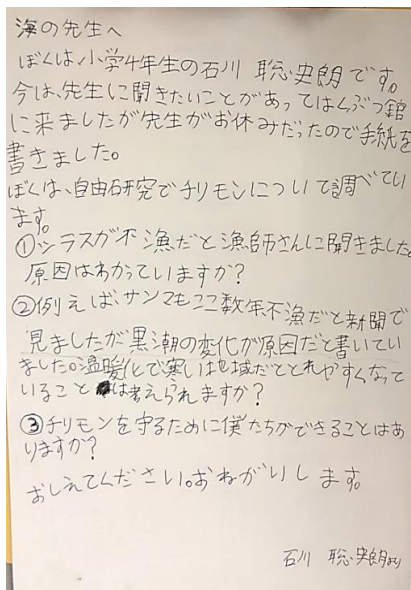


今年はシラスが本当にとれなくて、シラス漁体験をしてもらえません。漁に出れば、燃料代がかかるので、漁に出る日数を減らしています。従業員にお給料を払うのも大変なくらいです。お盆に釜揚げシラスの予約もたくさん入っているけれど、準備ができるかわからない状況です。

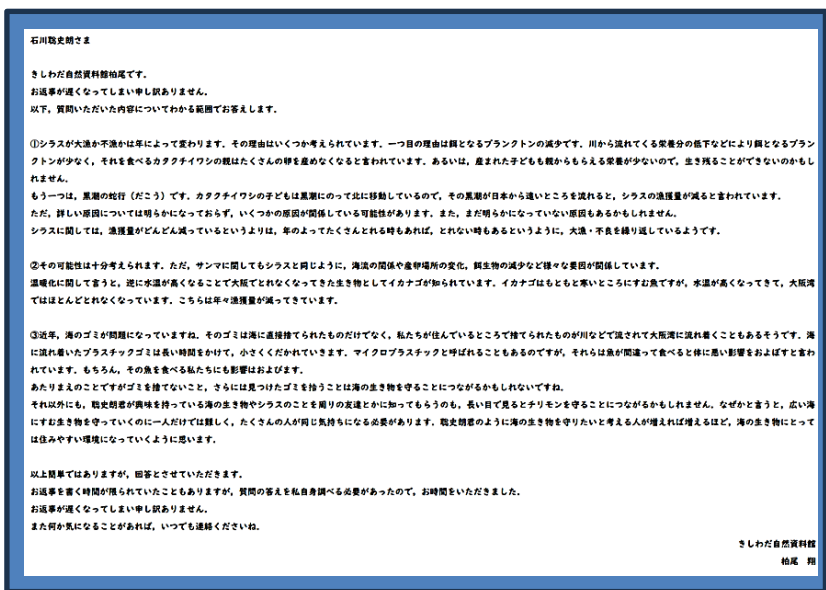
●インタビュー3 【チリメンモンスターの研究をしている「きしわだ自然資料館」の海の先生】

※資料館に行った日は、海の先生がお休みだったので、お手紙を書いてわたしてもらいました。後日、海の先生からお返事がきました。

《ぼくが書いたお手紙》



《海の先生からのお返事》

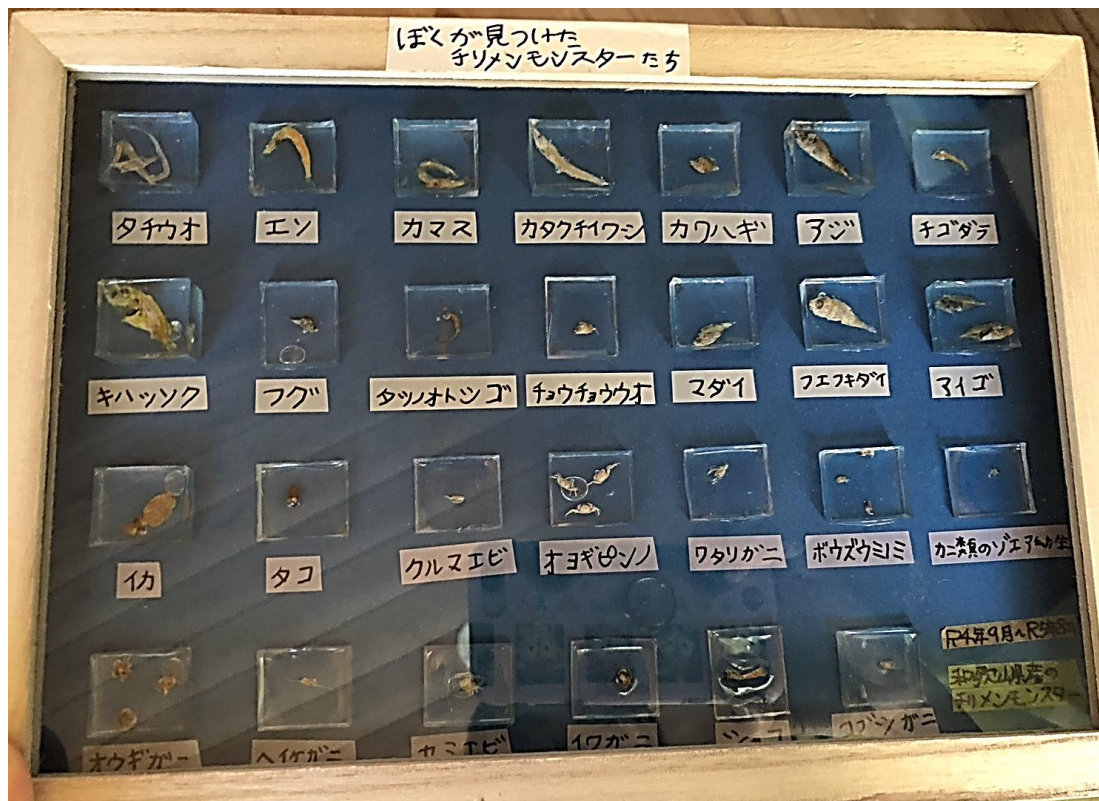


5. まとめ

1年間、チリメンモンスターのことを調べてみて、いつも食べているシラスやちりめんじゃこのパックの中は、「小さな海」みたいだと思いました。家にいるのに、いろいろな種類の魚に出会えたし、魚や海のことを調べたり、考えたりできたからです。

今回は、広い海の中の一部のことしか調べられなかったけれど、これから、もっと広い範囲のことも調べてみたいと思いました。来年こそは、実際に海に行き、シラス漁体験ができるとうれしいです。そして、これから魚を食べるたびに、魚たちが住む海の声を感じながら、ぼくにできる海を守る方法を考えてみたいと思いました。

【標本】ぼくが見つけたチリメンモンスターたち(R4.9~R5.8)



6. さいごに

3年生のときに和泉市の科学展を見に行き、「ぼくもやりたい！」とすぐに研究をはじめました。初めて研究をしてみて、すごく楽しかったし、どうしても、見てくれる人に伝えるのか一生けん命考えました。

研究をしていくと、どんどん新しく知りたいことが出てきて、時間が足りなくて困りました。新しく調べたいと思ったことは、来年に向けて研究しようと思います。

ぼくの研究にインタビューで協力してくれた魚屋さん、漁師さん、海の先生、ありがとうございました。



7. 参考にした本

「チリメンモンスターをさがせ！」 2020年7月 きしわだ自然資料館

「チリメンモンスターの中に広がる世界 海のマイクロ生物図鑑」 2020年4月 井田 齋

# 1 はじめに

ぼくは小さいころから、シラスやチリめんじゅこが好きで、よく食べました。でも、ぼくはいろいろな種類の魚が入っているシラスやチリめんじゅこを見ても、魚の種類がわからないので、調べてみようと思いました。

## 2 考えたこと(予想)

① 同じ場所でもちるチリメンモンスターは、季節によってちがうのか? → ちがうと思います。

② 魚の漁獲量が増えていると季節が変化して、チリメンモンスターも増えてくるのか? → 増えてくると思います。

令和6年6月15日  
「読者KODOMO新聞」の記事と、ぼくが学期に書いたレポート。チリメンモンスターと魚の漁獲量について調べました。

## 3 調べ方

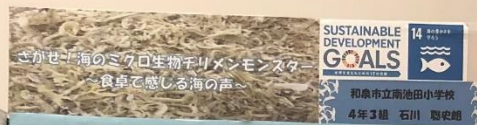
① 春・夏・秋・冬ごとに、どんなチリメンモンスターが食べられるのかを調べました。(見つけたチリメンモンスターはシラスとチリめんじゅこです)

② 同じ産地のチリめんじゅこ、シラスを食べて、魚の種類がわかるのかを調べました。

③ チリメンの研究をしている「魚屋さん」に話を聞いて、魚の種類がわかるのかを調べました。

④ シラス漁をしている「漁師さん」に話を聞いて、魚の種類がわかるのかを調べました。

【研究に使った道具】  
ルーペ、ペン、タブレット



## 4 調べた結果

① 同じ場所でもちるチリメンモンスターは、季節によってちがうのか?

**種類によって見つかる時期はちがう!**

200名のチリめんじゅこ2みくらを、季節ごとに調べましたが、特に「エビ」「カニ」「エン」はよく見つかりました。季節によって、魚の種類が変化しています。チリメンを見つけるたびに、魚の種類が変化しています。よく見ると、とても面白いです。

魚の種類  
● 100g以下  
● 100g以上

② 魚の漁獲量が増えていると季節が変化して、チリメンモンスターも増えてくるのか?

**少なくとも、和歌山・泉州・淡路では全体的に、はまっている!**

★インタビューをしました。

【魚屋さん】 今日100g280円内産のシラスを売っています。去年より値段がかなり高くなりました。シラスの量は去年よりかなり減っています。今年5月6月には、昔と比べると多いですが、今年シラスの量は減っています。今年も少し減ったので、少し減りました。

【漁師さん】 シラス漁は、今年も大変です。魚の値段が安いので、漁師さんたちは、魚を売るのに苦労しています。魚の値段が安いので、漁師さんたちは、魚を売るのに苦労しています。魚の値段が安いので、漁師さんたちは、魚を売るのに苦労しています。

## 5 きしわた自然資料館へ

チリメンの研究をしている「きしわた自然資料館」に行きました。先生が、ぼくたちの研究について話をしてくれました。先生は、ぼくたちの研究について話をしてくれました。先生は、ぼくたちの研究について話をしてくれました。

この日は、チリメンの研究をしている「きしわた自然資料館」に行きました。先生が、ぼくたちの研究について話をしてくれました。先生は、ぼくたちの研究について話をしてくれました。先生は、ぼくたちの研究について話をしてくれました。

## 6 まとめ

チリメンの研究を通して、魚の種類がわかるようになりました。先生が、ぼくたちの研究について話をしてくれました。先生は、ぼくたちの研究について話をしてくれました。先生は、ぼくたちの研究について話をしてくれました。

魚の種類がわかるようになりました。先生が、ぼくたちの研究について話をしてくれました。先生は、ぼくたちの研究について話をしてくれました。先生は、ぼくたちの研究について話をしてくれました。

魚の種類がわかるようになりました。先生が、ぼくたちの研究について話をしてくれました。先生は、ぼくたちの研究について話をしてくれました。先生は、ぼくたちの研究について話をしてくれました。

